

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

222号

★ 2020年3月28日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ IATA が危険を申し入れ

国際航空運送協会 (IATA) と国際定期航空操縦士連合会 (IFALPA) が1月国交省に3、5度の角度について懸念を伝えました。角度だけが問題ではなく、人口密集地を新たに航路とする非人道性を国際的に問題にしてほしいものです。

○ 本格飛行迫る 便数激減にもかかわらず

3月29日から本格的に新航空路での飛行を開始する予定の国交省に対して、市民団体や国会議員から抗議と延期要請が出ています。

29日は天も不快だったか、3月には珍しい大雪、更に新型コロナウイルスによる各国の渡航規制や自粛によって、羽田では軒並み欠航、観光客やオリンピックによる増収の見込みが見事に外れてしまいました。柔軟な対応ができず、実行する国交省は愚かとも何とも。

○ いたばしの空を守る会も抗議

雪も降り止んだ日曜日、運行時に合わせて市民団体「いたばしの空を守る会」もときわ台駅前ではピラマキとシールアンケートを行いました。実機飛行の後なのでさすがにこのことを知っている人が増え、賛成者は0でした。

○ 事故や落下物

上海行き全日空機が28日に成田空港を離陸した際、隣接の千葉県警宿舎近くにパネルが落下。30×16cmのカーボン製で、重さ約100グラム。マニラ空港では羽田行き小型機が炎上、全員死亡。羽田で起きたらと不安です。

○ 「図書館跡地に音楽ホールを」 署名の第一次集約は4月

コロナ騒ぎで提出を1ヶ月遅らせませす。あそこに「音楽ホール」は建たないと言って署名する人の気持ちを牽制する人がいます。また、私たちが陳情してもいない用途地域の変更の難しさをしつこく強調する人もいます。用途地域の変更について私たちは最初から一言も言っていません。常盤台の環境を守るために提案しているのですから。

「音楽ホール」は建つのです。板橋区が納税者であり主権者である区民の意見を尊重するならば。

○ 図書館の謎

その1 登記されていなかった図書館

その2 違法建築の作り方

前回の2項目に続き、あの図書館についてはまだ謎がありました。

その3 消えたプール

図書館の前には小学校のプールがあったので、その図面で敷地を確認できると考え、資料請求してみました。ところがその図面も無いのだそうです。

図書館の敷地面積を図面上に確認しないと、どんな規模のものが建築可能なのか解らないので、政策企画課の管財グループに話してみましたが、結局、現在の図書館の敷地図はどこにも無いのです。

現図書館は途方も無い違反建築であることは明らかなので、いずれ取り壊すことになるのですが、その時正確な計測をするというのです。

公共物がこういう扱いで良いのでしょうか。昔の役人のいい加減さに今の担当者も苦労しているように見えました。

署名のあつめかた

今回の署名運動については、ニュース配布の皆さんに用紙を同時配布していただいたので、署名用紙はほぼ全戸に配ることができたのですが、回収に困りました。

私たちも十年以上前の景観ガイドラインの賛成葉書の回収のときのように若くはなく、本来ならば一軒一軒お願いに伺うべきですが、それは無理なので、一計を案じました。

それは幾つかのお宅にポスト役を依頼、その近所の方はそこに投函させて貰う、というやりかたです。

ポスト役を引き受けてくださった皆さん、有難うございました。また、署名をお届け下さった皆さん、有難うございました。

皆さんのご協力で三月末、常盤台だけで四七〇筆、全部で一〇〇〇筆以上集まっています。新型コロナウイルスの為に各集会が中止となった中で、やはりこの提案が多くの方の賛同を得ていることを感じました。

集約を三月末として区長に提出する予定でしたが、予定が大幅に狂ったので四月末に延期することになりました。まだまだ多くの人の署名が必要です。未提出のかたはよろしくお願ひ致します。

駅北口のエレベーター完成

もう利用しましたか？階段を回り込んだ所のトイレの前がドアになっています。

プロムナードの街灯

感想はいかがですか？

夜、プロムナードを歩くことは滅多にないかもしれませんが、新しい街灯についてご感想はいかがでしたか。

とても高い所から見下ろされています。形はこんなふうには作業者の人に悪いかも知れませんが、ゴキブリが羽を広げた格好に見えてしまいました。元のクラシックな街灯が懐かしいです。

地区計画のころ

平成二年ごろ、常盤台に地区計画を、という企画がありました。その動きに携わったIさんと何十年かぶりに話をする機会がありました。

その頃の常盤台の町並みは、成城や田園調布に遜色ない美しさでしたが、今は鶉の目鷹の目の不動産業者に旗竿地まで作られて、残念ながら栄光は過ぎ去ったように見えます。住民の意識も低かった（今でも？）し、一代目が亡くなったあと、相続税に苦しめられたのが、土地の細分化につながり、高額な地価は転出する人には良くても、住み続ける人達には高い固定資産税となり、一方敷地が広いとなかなか買い手がつかず、転売目的の不動産屋は早く売りたいために切り売りするのです。都市景観という文化は日本には根付かないのでしょうか。

Iさんの無念さは常盤台住民のものでもあります。そのころ中心になっていた住民の殆どは鬼籍に入ってしまった。未来は？

常盤台公園のはなづくり

チューリップは早くも咲いています。突然の雪でうなだれているものもありますが、冬の間、花壇を彩っていたパンジーやビオラの株が大きくなって、チューリップを邪魔するようになったので、いつの間にかTさんが手前に植え替えてくれました。花盛りの状態でも移植して絶対枯れさせないのがTさんの腕の見せ所で、いつもながら感心します。

去年、マーマレードをお買い上げくださった方はぜひ図書館前の花壇を見てください。あなたのお陰できれいなチューリップがみんなの目を楽しませているのです。

今年の桜はもう満開です。新型コロナウイルスの騒ぎで、どこのお花見も中止のようですが、公園では家族連れがピニールシートを拡げて楽しんでいました。ところが日曜日の雪には花もびっくりにたでしょう。花房に積もった風情を花隠しと言うのだそうです。

桜に限らず、色々な植物が花時を狂わせているようで、地球温暖化の影響は多方面に現われているのでしょうか。

学校が休校なので、街の中に子ども達の姿が見られて、常盤台にもこんなに子どもがいるんだと驚きました。

